

# 新潟民商

新潟民主商工会  
新潟市中央区南樋西3丁目10-14  
電話(243)0141  
12年10月15日

## 秋の1万人対話運動！ 会員商品券の協力店募集

消費税増税中止！強く大きな  
民商をつくる運動の顕彰決定

- ◆署名：五〇署名突破（洗剤アタック）  
百署名突破（五百円会員商品券）  
二百署名突破（五百円会員商品券二枚）
- ◆知合い紹介三名（五百円会員商品券）
- ◆読者拡大二名（五百円会員商品券）
- ◆会員拡大一名（三千円会員商品券）

### 地域を支える民商会員発見 会員商品券取扱の店の募集

会員商品券の取り扱いの店を募集します。会員商品券で面白い物をした分、民商がお店に代金分をお支払いします。

### 募集方法

縦六十四ミリ×横四十四ミリの四角のサイズに入る広告原稿を民商に出して下さい。

\*第一次募集締め切り。十月二十日

10月21日(日)投票日

## 県知事選挙の争点

①消費税増税をすすめる民主・

自民・公明に応援された候補



増税に反対し消費税に頼らな

い道を示す日本共産党の候補

②原発ゼロを決断しないで、

「柏崎刈羽原発廃炉を言うの

は無責任」という候補



原発ゼロ・柏崎刈羽原発廃炉

を決断する候補

中小業者の営業と暮らしを守る選択を話し合っ広げよう

署名活動に燃えています！料飲支部

県連総会での講演や、野上副会長による支部消費税学習会で熱心に学んでいる料飲支部の山賀さん。「署名は大事な活動。講演会や学習会で得た、知らなかった事実を皆んなに伝えることも大切なこと」と署名用紙をいつも小脇に抱え、お店のお客さんはもちろんのこと、店の前で水道工事をしている現場の人たちや、お昼に入った近所のラーメン屋さんなど、接する全ての人に声をかけ説明し、署名数を伸ばしています。また、学んだことを伝えるため、役員達による出張学習会を開催する小さな集まりも計画しています。一万人対話民商協力店にも登録し、民商の輪をどんどん広げていきます。

### 雨天の署名活動で二二〇署名

木戸病院生協まつりで

木戸支部では七日、木戸病院の医療生協まつり会場で役員五名(事務局三名)が参加して、まつり参加者に「消費税増税の中止を求める署名」を訴えました。朝九時から二時間の呼びかけ行動で、三三〇署名が集まりました。当日は朝からの雨が止まず、傘をさしながら、画板上で署名してもらいました。呼びかけた来訪者のほとんどの方が「実際上がったら大変だよね」「一〇%になると年間で三〇万円も負担が増えるってホントなの」と話しながら、快く署名してもらいました。「もう決まったことだ」といつて応じない人もいましたが、「黙ってはいられない」人が圧倒的に多いことも実感できました。

## 相談活動・拡大運動全国交流会

新潟民商副会長・野上昇(上支部・行政書士)

十月六日(土)・七日(日)の二日間、全国から二百三十六名が集まった全国交流会に参加してきました。集会の要旨は、中小業者の困難を打開する旺盛な相談活動



を通じて、会内外からの信頼と民商運動への確信を飛躍的な組織拡大につなげ、その多数者に共通する死活問題として消費税の増税阻止をやり遂げる。要求が持ち込まれるのを待つのではなく、攻勢的に話しかける。『消費税』や『銀行への返済』、『国保の支払い』などの対話をすれば必ず共感を得られる。時宜にかなうテーマで相談会を続けて行けば地域を励ます力となる。「困ったときこそ共に闘う」という被災地の教訓を全国で生かすことが大切です。「事務局がやってくれる」では組織は育ちません。会員本人の自覚を高める学習を運動の中心にしましょう。という内容でした。このテーマにそって、パネルディスカッションや分科会が持たれ、全国からの経験を交流しました。私が参加したのは、『班・支部の相談と拡大』文化会でした。多くの民商でも班や支部での相談会は難しいようですが、「とにかくやる、継続してやる、相談者が来なくても継続していると入会に繋がった。」という話が印象的でした。拡大成果を維持している広島では、事務局員の仕事は何よりも拡大とのこと2でした。テナントビルのオーナーの方は「これ以上消費税が上がったらやっつけていけない、なんとしても増税を止めさせなければならぬ！中小業者が存続していくため、要求実現のためには数が必要、拡大こそ業者要求実現の保障となる。」と強く訴えていました。

## 青年部役員が応援に駆けつける！

中央支部

今月初め、中央支部で消費税学習会が開かれました。野上副会長が講師を務め、アシスタント役として青年部役員の大崎さんが駆けつけてくれました。応能負担ではない消費税そのものの欠陥や、下請け業者に仕入税額分の負担を押しつける大企業に輸出戻し税を戻す不条理さなどの説明を受けた参加者たちは、「消費税はとんでもない税金なんだね！」と一様に驚きと憤りをあらわにしていました。参加した二十代の山田さんは、消費税増税法案の参院通過を知った際、「閣議決定されたものを覆すことができたっけ？」と学生時代の教科書を掘り返したそうです。

「施行されるまでには、まだ一年半ある。」「地域を支える業者のためにも消費税増税は、とんでもない！」「自分たちの意志を主張するためにも、署名活動や選挙が大切だね。」

二十代、三十代から八十代まで、世代を超えた活発な交流で、中村支部長も大満足の様子でした。

## 日本母親大会報告会を開催

小針支部

十月三日だいろの湯にて六名の参加で消費税学習会と「第五十八回日本母親大会報告会」を開催しました。消費税学習会では、皆でプラスターの中身を読んで説明をしました。「私は、消費税をもらえない！」「輸出戻し税なんて知らなかった。」「所得が低い人ほどいっぱい負担するなんておかしい！」など怒りもち、皆で署名をいっぱい集めようと話していました。

その後は、母親大会の感想を出し合い「初めて参加した。母親大会は若いお母さんの集まりだと思っていたけど、全然違っていて皆のパワーにびっくりし、感動と満足感で参加してよかった。」「以前参加した体験を新潟で感じられることをうれしく思った。」などと語っていました。

